

案件名「（仮称）御殿場市産婦人科クリニック基本構想」（案）

「（仮称）御殿場市産婦人科クリニック基本構想」（案）に対し、ご意見をいただきありがとうございました。提出された意見の内容（概要）及び意見に対する市の考え方は以下のとおりです。

みんなの声を活かす意見公募手続の結果

1	意見提出者数	22 人	
2	提出された意見の数	92 件	
3	意見の反映状況		
①	反映した意見	6 件	
②	既に盛り込み済みの意見	7 件	
③	今後参考とする意見	51 件	
④	反映できない意見	17 件	
⑤	その他（質問等）	12 件	
4	意見の反映状況一覧		
No	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	策定趣旨中の「無痛分娩等への対応」について、計画無痛分娩の導入等、具体的な実施体制を明記されたい。	御指摘の通り、計画無痛分娩を提供するためには、専門医のみならず、麻酔科医の確保や専用の機材の導入等、検討すべき内容が多々あります。今後、人材確保や医療機器選定に当たり、計画無痛分娩の実施可否についても、慎重に検討をしてまいります。	③
2	東京都等で導入されている「無痛分娩費用補助（10 万円程度）」を本市独自施策として導入、または、本クリニックでの利用料減免を実施されたい。	無痛分娩のみならず、出産を控える家族の経済的支援については、少子化対策の観点からも検討すべき事項であると承知しております。補助制度の創設については、整備と並行して検討してまいります。	③
3	「一般不妊治療」の提供について、タイミング療法だけにとどまらず、人工授精（AIH）や不妊専門相談の特定曜日や夜間実施など、働く女性が通いやすい体制を整えられたい。	女性が通いやすい体制の構築は必要であると考えております。一方で、産婦人科クリニックに勤務する産科医師や看護師のワークライフバランスも重要です。今後、運営計画の策定の中でより良い体制づくりを検討していきます。	③
4	スマホでの完全 Web 予約・Web 問診、リアルタイム待ち時間表示、キャッシュレス決済、産後オンライン相談アプリ等を導入	御指摘の通り、オンライン予約・問診、予約システムと連動した待ち時間表示、キャッシュレス決済等については、今後必須な	③

No	意見の内容	市の考え方	反映 結果
	されたい。	機能であると考えております。一方で、本クリニックの規模でどこまでのクオリティを求めるかについては、投資可能な金額を見極めながら、選定を進めていきたいと考えます。	
5	LDR 室において、完全防音構造の導入と、夫やお子さんが快適に付き添い、宿泊が可能な「ファミリールーム仕様」として設計されたい。	御指摘の通り、プライバシー配慮のための防音構造や家族で新しい家族を迎え入れるための施設は必要と考えます。今後の建築設計の中で、検討を進めてまいります。	③
6	病床については、相部屋ではなく、全室個室、専用トイレ・シャワー完備とし、リラックス出来る景観や落ち着いたインテリアを採用されたい。	市民をはじめ誰もが利用しやすい施設を目指す中で、可能な限り、出産を終えられたお母さんがリラックスして過ごすことができる建築設計を目指していきます。	③
7	産後ケア事業の際、一般の外来患者や通常分娩入院患者と生活動線が重ならないよう、静かな専用エリアとラウンジを建物内に配置されたい。	スペースが限られる中、完全に生活動線を重複させないということが可能かについては、今後の建築設計の中で検討してまいります。	③
8	陣痛時や新生児を連れた通院時に、雨や雪の影響を受けずに乗降できる、大型屋根付きの車寄せを正面玄関及び緊急入口に整備されたい。	本市の気候条件を鑑みますと、必要な施設であると考えます。建築設計において検討していきます。	③
9	小児科医による新生児診療体制を強化し、退院後、何時如何なる時でも、赤ちゃんの急変に対応できる 24 時間小児科電話・オンライン相談窓口や、近隣小児科との夜間連携体制を構築されたい。	産婦人科クリニックを運営していく中で、新生児診療の強化は必須であると考えます。今後、近隣医療機関とも連携を深めていきたいと考えております。24 時間小児科電話相談は#8000 静岡県こども救急電話相談の活用を促してまいります。	③
10	クリニック開設後、利用した患者からのフィードバックを収集、サービス改善に即座に反映させるため、利用者モニター委員会等の仕組みを設置されたい。	選ばれる産婦人科クリニックを目指すためにも、利用された方の意見を収集する仕組みは重要です。どのような意見収集、フィードバック方法が最も相応しいかについては、今後、運営計画を策定していく中で検討していきます。	③
11	不妊治療の待合スペースや会計窓口については、通常の外来利用者と動線や待機場所を分ける等、配慮されたい。	スペースが限られる中、完全に生活動線を重複させないということが可能かについては、今後の建築設計の中で検討していく必要があると考えております。また、予約制を導入することにより、不妊治療の時間	③

No	意見の内容	市の考え方	反映 結果
		帯を設ける検討をしてみたい。	
12	豪華な設備である必要はないため、利用しやすい広さの個室をできるだけ多く整備し、個室にトイレやシャワーを備えられたい。	市民をはじめ誰もが利用しやすい施設を目指す中で、可能な限り、出産を終えられたお母さんがリラックスして過ごすことができる建築設計を目指していきます。	③
13	産後ケア事業を充実されたい。	産後ケアの充実については、構想（案）の中で触れておりますが、今後の運用計画の中で、さらなる充実を図っていきたいと考えます。	②
14	自家用車を利用する機会が多いため、十分な駐車場を確保されたい。また、雨の日でも安心して乗降できる、屋根付き送迎スペースを整備されたい。	御殿場市の地域特性を踏まえ、駐車場は十分に整備する予定です。また、第2駐車場も用意する予定であり、構想（案）でも触れております。さらに、予約システムの導入により、駐車場の最適化を図ります。 屋根付きの送迎スペースは、本市の気候条件を鑑みますと、必要な施設であると考えます。建築設計において検討していきます。	② ③
15	プライバシーへの配慮の観点から、受付カウンターの配置や呼び出し方法等を工夫し、安心して受診できる環境づくりをされたい。	患者のプライバシーへの配慮については、非常に重要であると考えております。今後の建築設計や運営計画策定の中で、プライバシーが最大限守られる施設、運用を目指していきたいと考えます。	③
16	産後は不安定な時期であるため、食事が心身の支えになることから、基本構想中の「食事に力を入れる」という方針を堅持されたい。	御指摘の通り、食事は、患者の栄養補給のみにとどまらず、心身を健やかに保つためには非常に重要な要素です。また、地産地消や食育等、多くの意味を含みます。構想（案）にも記載がございますが、本クリニックでは、シェフによる食事提供サービスを計画しており、祝い膳等、多くの方に満足していただける食事サービスを目指していきます。	②
17	患者の負担軽減の観点から、Web 予約を含めた予約制を基本とし、待ち時間の短縮や、診察の進行状況を容易に確認できる仕組みを導入されたい。	御指摘の通り、オンライン予約はもちろん、オンライン問診、予約システムと連動した待ち時間表示、キャッシュレス決済等については、今後必須な機能であると考え	③

No	意見の内容	市の考え方	反映 結果
		ており、効率化による待ち時間の短縮等に努めたいと考えております。一方で、本クリニックの規模でどこまでの機能を求めるかについては、整備期間や建設コストを見極めながら、選定を進めていきたいと考えます。	
18	中高生も含め多くの女性が集まる施設であるため、他の産婦人科医院も参考に建物のデザインには細部にも配慮されたい。	今後の建築設計の中で、誰もが親しみを持つことができるデザインを採用していきたいと考えております。	③
19	入院中の不便を解消するため、施設内に新生児用の物品が手に入るコンビニエンスストアを併設されたい。	限られたスペースの中で、施設内にコンビニエンスストア等の店舗については、検討しておりません。近隣のコンビニエンスストア、ドラッグストア等のご利用を促すとともに、施設内に日用品を含めた物品を購入できる自動販売機の設置を検討してまいります。	④
20	自家用車を持たない家庭に配慮し、産婦人科クリニックと市内主要施設を循環するバスを運行されたい。また、停留所の設置場所にも配慮されたい。	当該地区には、路線バスが運行しており、建設地近隣には、湯沢平公園入口停留所も設置されております。今後、利用状況を見極めながら、バス事業者に対して働きかけを行いたいと考えております。	③
21	立地については、市内中心部から遠くなることは悪手であるため、再考されたい。また、施設付近に託児所や遊べる施設があると良いため、検討されたい。	早急な産婦人科クリニックの整備が求められる状況を鑑みますと、立地は当該地が最も適していると考えます。なお、当該地周辺には湯沢平公園があり、また、富士山木のおもちゃ美術館やほんてらす等にもアクセスが可能な立地です。	④
22	子どもを遊ばせることができ、災害時にも活用が可能な多目的ホールを設置されたい。	一定の広い空間は必要であると考えます。今後の建築設計の中で検討していきます。	③
23	市内外の助産院や各種相談機関との連携を確保し、容易に利用ができるようにされたい。	構想（案）にも記載をしておりますが、今後、静岡県助産師協会御殿場支部や各種機関とも緊密に連携し、必要なサービスが直ぐに受けられる体制を構築していきたいと考えております。	②
24	将来的な利用者である中高生にも意見を募られたい。また、里帰り出産で利用する市外在住者にも意見を募られたい。	パブリックコメントは中高生でも意見を提出することが可能であり、また、市外在住者であっても、実家が御殿場市内にあ	⑤

No	意見の内容	市の考え方	反映結果
		り、将来的に里帰り出産を希望されるということでしたら、本事案に利害関係を有していると考えられ、意見の提出が可能ですので、御理解ください。	
25	収益確保の観点から、高所得者向けのサービスを検討されたい。	産婦人科クリニックに限らず、収益の確保は非常に重要です。一方で、公設の産婦人科クリニックである以上、高い公平性も求められます。その中で、高所得者向けのサービスとしてどのようなことが可能であるかについては、今後の運営計画の中で検討していきたいと考えます。	③
26	妊娠期間中は運転を控えたい、送迎可能な家族がいない等の事情に配慮し、産婦人科クリニック送迎に特化したタクシーチケットの発行を検討されたい。	妊娠期間中は運転を控えたい、または、家族や近隣に送迎可能な人がいないという事情があることは、十分に承知しているところです。その中で、移動に関してどのような支援が最も効果的かについては、今後、検討していきたいと考えております。	③
27	女性にとってセンシティブな相談が可能な女性医師の確保、または、看護師とコミュニケーションが図れる仕組みを構築されたい。	女性が相談しやすい体制の構築は必要であると考えております。今後、運用計画を策定していく中で、女性医師の配置等に関しても検討していきたいと考えております。	③
28	共立産婦人科医院の産後ケアが素晴らしいため、継続して産後ケアに力を入れられたい。	産後ケアの充実については、構想（案）の中で触れておりますが、今後の運用計画の中で、さらなる充実を図っていきたいと考えます。	②
29	キッズスペース、ベビーカーゴと入れる広いトイレや診察室を整備されたい。	スペースが限られる中、各室にどの程度の面積を確保できるかについては、今後の建築設計の中で検討してまいります。	③
30	若い女性も入りやすい施設機能、内装、名称とされたい。	今後の建築設計の中で、誰もが親しみを持つことができるデザインや内装を採用していきたいと考えております。名称についても、同様です。	③
31	クリニックに隣設した調剤薬局の設置を検討されたい。	処方薬については、院内、院外双方の可能性を検討しており、より利用者にとって利便性の高い手法を模索してまいります。	③
32	患者の不安を解消するため、施設内にカフェ等のくつろげる場所を併設されたい。	限られたスペースの中で、施設内にカフェ等の店舗については、検討しております	④

No	意見の内容	市の考え方	反映結果
		ん。近隣のコンビニエンスストア、ドラッグストア等のご利用を促すとともに、施設内に日用品を含めた物品を購入できる自動販売機の設置を検討してまいります。	
33	緊急時には、遠方の病院ではなく、市内で対応可能となるよう検討されたい。	市内には二次救急医療施設として、富士病院、東部病院（公益社団法人有隣厚生会）、フジ虎ノ門整形外科病院（社会医療法人社団青虎会）があり、一般的に緊急時には、そちらへ搬送されることとなりますが、構想案にも記載の通り、母子の安全を最優先とし、高度な処置が必要と判断された場合は、市外の病院へ転送されることもございます。御理解の程、よろしくお願いいたします。	④
34	建設費および開院後の運営における自治体間の負担割合について、現時点で客観的な法的合意の有無を示すとともに、合意に至っていない場合、相手方の財政負担を担保するための手法を示されたい。併せて、財政負担の算定基準の想定についても示されたい。また、財政負担の算定基準について協議が調わず、御殿場市単独で負担する場合の試算を示されたい。さらには、本市単独で予算やスケジュールを先行させることへのリスク回避の観点から、法的調整・財政精査期間を設けるべきと考えるが、見解を示されたい。	本基本構想（案）は、本市における産婦人科医療の確保に向けた基本的な方向性や施策の枠組みを示すものです。近隣自治体との広域連携や財政負担割合、具体的な法的枠組み等につきましては、今後の協議及び運営計画等の策定段階において、法令に基づき適切に検討、整理してまいります。	⑤
35	昨今の深刻な産科医不足を鑑みた際、事実上、特定の事業者が指定管理者として選定されることとなった場合、他事業者からの行政不服審査法に基づく審査請求、または、住民訴訟に発展することが懸念されるが、この法的リスクを排除・担保する選定基準等について、見解を示されたい。また、指定管理者の撤退や医師の引き上げについて、指定管理協定における「違約金・ペナルティ条項」「代替医師確保スキーム」の明文化、静岡県との実務的な合意形成が事	指定管理者の選定手法や募集要項、運営協定等における詳細な条件（撤退・リスク負担等の取り決め含む）につきましては、関係法令を遵守し、公正かつ適切な手続きを経て、今後の運営計画及び公募・選定等の手続きの中で明確にしていまいります。	⑤

No	意見の内容	市の考え方	反映 結果
	前に必要と考えるが、見解を示されたい。		
36	初期投資としての建設事業費の総額及び開院後 30 年間で想定される維持管理費、指定管理料を合算したライフサイクルコストの試算を示されたい。併せて、国・県支出金、地方債等の具体的な財源内訳と、少子化の進展に伴う損益分岐点の試算を示されたい。また、将来負担比率、将来負担額の算定について試算を示されたい。また、長期にわたる運営補助金を確約する場合、経常的経費として処理されることから、見えざる債務化、表面化しにくくなる懸念について、財政規律の観点からの整理と中期財政見通しへの反映方針を示されたい。	事業費の見通しや財源計画につきましては、今後の診療報酬（分娩費用）の動向に注視し、施設規模や運営形態等の詳細が決まりしだい精査してまいります。なお、事業推進にあたっては、本市の財政状況及び財政健全化に関する関係法令等に配慮し、持続可能な財政運営に努めてまいります。	⑤
37	総合的・先験的な観点から、産婦人科単独ではなく、先進的な医療を提供する総合病院とすることを検討されたい。	現代における医療人材の不足や市民の多様なニーズに対応するための行政コストの増大を踏まえますと、本市単独での様々な診療科を備えた総合病院の設置は難しく、駿東田方医療圏域の広域的に地域医療を考えていく必要があります。その中で、本市としましては、人口減少対策の一環として、市民等に安心して出産ができる環境を整えることを目的として、(仮称) 御殿場市産婦人科クリニック整備を計画しております。	④
38	将来的な市民サービスの向上や行政経費の効率化の観点から、現在、老朽化が進む保健センターや救急医療センターの機能を含めた複合施設としての整備を検討されたい。	御指摘の通り、保健センター、救急医療センター等の機能を付加し、施設を多機能化することには、一定のメリットがあることは事実です。一方で、市民等が安心して出産できる環境を早急に整える必要性に迫られている中で、施設の多機能化は、建設期間の長期化や建設コストが増大する要因にもなります。よって、本構想案では、産婦人科機能に絞った施設整備として計画しております。	④

No	意見の内容	市の考え方	反映結果
39	公共交通によるアクセスのしやすさを重視し、図書館や文化施設、学校など周辺機能との連携も期待できる「ほんてらす」周辺での整備を検討されたい。	庁内における検討段階において、① 開発コスト、② 工期・スケジュール、③ 地域バランス、④ 用地適正、⑤ アクセス・交通利便性、⑥ 周辺環境への影響の 6 項目の評価基準を設定し、現実的かつ具体的な建設候補地を選定する中で、御指摘の「ほんてらす」周辺における整備も検討したところです。その結果、本構想案にて示しました地域での整備が最も望ましいとの結論に至ったものです。	④
40	早期整備を目指す姿勢は理解するが、スピード重視ではなく、市民が利用しやすい全体設計、将来的な行政サービスの集約化を見据えた施設整備とするよう検討されたい。	市民等が安心して出産できる環境を早急に整える必要性に迫られている現在の状況において、建設期間の長期化や建設コストの増大を抑制する観点から、産婦人科機能に絞った施設整備を検討しております。その中において、産後ケアの充実等、必要な付加機能を最大限盛り込めるようにしておりますので、御理解ください。	④
41	新施設開設までの期間における、現共立産婦人科医院の業務継続の可否を早急に明確化されたい。	令和 9 年 4 月 1 日から新施設開業までの間については、現在、関係各所と協議を進めております。決定次第速やかに情報提供に努めてまいります。	⑤
42	新施設の整備に当たり、設計段階から、現共立産婦人科医院スタッフの意見を十分に取り入れられたい。	新施設が必要な機能を十分に備えられるよう、様々な方から御意見をいただきたいと考えております。	③
43	高齢者や自家用車を持たない家庭に配慮し、産婦人科クリニックへのシャトルバスの運行や路線バスの増便を検討されたい。	当該地区には、路線バスが運行しており、建設地近隣には、湯沢平公園入口停留所も設置されております。今後、利用状況を見極めながら、バス事業者に対して働きかけを行いたいと考えております。	③
44	入院中の不便を解消するため、施設内に手術に必要な物品や美容・健康サプリメントが購入可能な売店を併設されたい。	限られたスペースの中で、施設内に売店の設置は検討しておりません。	④
45	院外薬局の誘致を検討されたい。	処方薬については、院内、院外双方の可能性を検討しており、より患者にとって利便性の高い手法を選択してまいります。	③
46	産前・産後ケアのために、児の預かりを検討されたい。	児の預かりについては、今後の運営計画で検討してまいります。	③

No	意見の内容	市の考え方	反映 結果
47	夜間、日曜祝日等の急患対応のため、事務職員の夜勤か当直体制を検討されたい。	夜間、休日の急患対応は、産婦人科の運営上、必要と考えております。運営事業者の選定後、関係者間で体制を検討いたします。	③
48	入院中の不便を解消するため、飲食物、日用品、衛生用品、乳児用品等が購入可能な売店を併設されたい。また、妊婦向けの飲食物も取り扱うカフェを設置し、一般にも開放することを検討されたい。	限られたスペースの中で、限られたスペースの中で、施設内に売店の設置は検討しておりません。	④
49	保育士等の専門スタッフが対応する、一時預かり施設の設置を検討されたい。	限られたスペースの中で、保育士等を配置した一時預かり施設の併設については、検討しておりませんが、待合室に設置された、いわゆるキッズスペースについては、検討してまいります。	③
50	若者から年配者までが親しみを持てる外観の施設とされたい。	今後の建築設計の中で、誰もが親しみを持つことができるデザインや内装を採用していきたいと考えております。	③
51	新施設の整備に当たり、実際にその場所を利用する職員の意見を可能な限り反映されたい。	新施設が必要な機能を十分に備えられるよう、様々な方から御意見をいただきたいと考えております。	③
52	通常、表紙や目次にはページ番号を付さないで修正されたい。	御指摘の通り修正いたします。	①
53	「重点プロジェクト 2-2 安心できる医療体制の確保」について、第五次御殿場市総合計画と整合させるため「政策 2-2 安心できる医療体制の確保」に修正されたい。	御指摘の通り修正いたします。	①
54	市内に産科施設が無くなるという課題に対し、産婦人科クリニック整備の結論に唐突感があるため、記載方法を検討されたい。	産婦人科クリニックを整備しなければ、御殿場市、小山町の医療圏域から産科施設が無くなり、安心して地域で子どもを産むことができなくなってしまいます。よって、市民等の安心・安全を考慮すれば、産婦人科クリニック整備以外の検討には至っておりません。	④
55	御殿場市と共に同一の医療圏域を構成する小山町における現状についても、出生数データが掲載されていることから、記載を検討されたい。	御指摘の通り、御殿場市と小山町は同一の医療圏域を構成しており、人口減少や産婦人科医院が無くなり、安心して出産に臨むことが可能な環境が失われるといった共	④

No	意見の内容	市の考え方	反映 結果
		通の課題を有しております。そのため、参考資料として小山町の出生数を掲載しておりますが、本市が同町の現状について、詳細に構想に記載する立場にはありません。	
56	安全・安心な医療の提供の一環としたデジタル技術の活用について「基本方針① 安全・安心な医療を提供するために」へ「積極的なデジタル技術の活用による、最先端の医療の提供」の追加を検討されたい。	御指摘の通り追記をさせていただきます。	①
57	イメージ図を見開きで掲載し、特徴を明記することを検討されたい。	本構想（案）に掲載されている図は、あくまでイメージとなりますので、御提案をいただいた形での掲載はいたしません。今後、建築設計が固まり、より具体化した際に、御提案の手法を検討したいと考えます。	④
58	新施設の建設地について、地図に具体的な表示が無いことから、地図上への明示を検討されたい。また、他候補地との比較データの掲載を検討されたい。	御指摘の通り地図上へ建設予定地を明示させていただきます。なお、他候補地については、もちろん検討が為されましたが、必要な情報のみをシンプルに掲載することで、誰もが分かりやすい構想とする観点から、本構想への掲載は見送っております。	①
59	イメージ図に AI が活用されているので、著作権を確認するとともに、奥書へ「一部 AI を活用して作成した」旨、明示を検討されたい。	御指摘の通り掲載をさせていただきます。	①
60	構想（案）に、（仮称）御殿場市産婦人科クリニックが ZEB 認証を目指す旨、記載することを検討されたい。また、環境負荷低減技術の導入を検討されたい。	御指摘の通り、本市は、環境施策に力を入れております。本施設におきましても、環境に配慮した施設とする予定ではおりますが、ZEB 認証の取得の可否や環境負荷低減技術の導入については、今後の基本計画や建築設計の中で検討してまいります。	③
61	KPI 及び KGI の記載を検討されたい。	本市における産婦人科クリニック整備については、人口減少対策の一環として位置づけております。一方で、本市における人口の将来的な展望については、御殿場市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンにおい	③

No	意見の内容	市の考え方	反映結果
		て具体的な数値を示しております。今後、基本計画策定の中で、必要に応じて記載を検討いたします。	
62	参考資料に各種検討会議の構成員の記載と設置根拠となる例規等を掲載されたい。	御指摘の通り掲載をさせていただきます。	①
63	地域の分娩医療を途切れさせることなく、新しいクリニックを安定して運営していくために、現在の医療スタッフの確保や、これまでの経験を生かした新しいクリニックならではの取組を積極的に取り入れられたい。	新施設が必要な機能を十分に備えられるよう、様々な方から御意見をいただきたいと考えております。	⑤
64	様々な患者に配慮するため、婦人科と産科の待合室や診療スペースを分ける等、患者同士の接触機会を減らし、安心して受診できる環境を検討されたい。	スペースが限られる中、完全に婦人科と産科を重複させないということが可能かについては、今後の建築設計の中で検討していく必要があると考えております。予約制を導入することにより、極力、患者同士の接触機会を少なくするといったことは検討してまいります。	③
65	患者のニーズに合わせ、様々なタイプの居室が選択できるよう、部屋数を確保されたい。	居室については、地域全体のバランスや地域特性も鑑み、十分な数を用意する予定ですが、どのような構成とするかは、今後の建築設計の中で検討してまいります。	③
66	分娩や入院時に家族が安心して待機できるスペースを設けられたい。	今後の建築設計の中で、必要なスペースを確保したいと考えます。	③
67	スタッフが安心して働けるよう、今後の方向性を早急に示されたい。	現在のスタッフの皆様の雇用に関しては、市が言及できる立場にはございませんが、事業者の意向やスタッフの皆様の経験が尊重されるよう必要に応じて連携・配慮してまいります。	⑤
68	高齢者や公共交通機関を利用する人が不便であるため、巡回バスを検討されたい。	当該地区には、路線バスが運行しており、建設地近隣には、湯沢平公園入口停留所も設置されております。今後、利用状況を見極めながら、バス事業者に対して働きかけを行いたいと考えております。	③
69	川島田地区の同意を得られたい。	今後、計画が具体化した際には、周辺住民への説明の機会が必要であると考えております。	③

No	意見の内容	市の考え方	反映 結果
70	雇用と勤務継続の見通しを明確にされたい。	現在のスタッフの皆様の雇用に関しては、市が言及できる立場にはございませんが、事業者の意向やスタッフの皆様の経験が尊重されるよう必要に応じて連携・配慮してまいります。	⑤
71	産後ケア専用の施設を別棟で整備されたい。	限られたスペースの中で、複数棟の施設とすることについては、検討しておりません。	④
72	居室に和室を設けられたい	居室について、どのような構成とするかは、今後の建築設計の中で検討してまいります。	③
73	近隣にコンビニエンスストアや日用品を購入できる店舗が無いため、院内に売店を設けられたい。	限られたスペースの中で、施設内に物販用店舗については、検討しておりません。近隣のコンビニエンスストア、ドラッグストア等のご利用を促すとともに、施設内に日用品を含めた物品を購入できる自動販売機の設置を検討してまいります。	④
74	現在の産婦人科の今後の見通しについて、情報を明確に示されたい。	令和9年4月1日から新施設開業までの間については、現在、関係各所と協議を進めております。決定次第速やかに情報提供に努めてまいります。	⑤
75	交通アクセスの充実を図られたい。	当該地区には、路線バスが運行しており、建設地近隣には、湯沢平公園入口停留所も設置されております。今後、利用状況を見極めながら、バス事業者に対して働きかけを行いたいと考えております。	③
76	今後の生活設計や就業について、適切に判断できるよう、雇用や勤務体制等の具体的方針を示されたい。	現在のスタッフの皆様の雇用に関しては、市が言及できる立場にはございませんが、事業者の意向やスタッフの皆様の経験が尊重されるよう必要に応じて連携・配慮してまいります。	⑤
77	赤ちゃんの泣き声や救急車両のサイレン等、周辺環境への影響が懸念されるため、周辺住民等への説明、同意を図られたい。	今後、計画が具体化した際には、周辺住民への説明の機会が必要であると考えております。	③
78	産後の骨盤底ケアや身体の回復、尿漏れ、骨盤臓器脱、更年期の不調など、女性が気軽に相談できる環境を整えられたい。	女性のヘルスケアの充実については、構想（案）の中で触れておりますが、今後の運用計画の中で、さらなる充実を図っていきたいと考えます。	②

No	意見の内容	市の考え方	反映結果
79	隣接する公園を整備されたい。	当該地周辺には湯沢平公園がありますので、施設に隣接した公園の整備は検討しておりません。	④
80	健康教室、ヨガ、育児相談などにも利用でき、災害時には一時的な避難等にも活用できる多目的なスペースを整備されたい。	産後ケア等も考えますと、一定の広い空間は必要であると考えます。今後の建築設計の中で検討していきます。	③
81	子ども連れでも安心して受診できる環境を整えるため、キッズスペースを設けられたい。	待合室に設置された、いわゆるキッズスペースについては、検討をしたいと考えております。	③
82	医師、助産師、看護師をはじめとするスタッフが、安心して長く働ける雇用環境や勤務体制を整えられたい。	現在のスタッフの皆様の雇用に関しては、市が言及できる立場にはございませんが、事業者の意向やスタッフの皆様の経験が尊重されるよう必要に応じて連携・配慮してまいります。	⑤
83	「御殿場ならではの、地域に長く必要とされる産婦人科」として、子どもから高齢者まで地域の人が集い、身体と心の健康を育てられる場所とされたい。	市民等、多くの方に親しみを持っていただける施設を目指すため、今後、具体的な運用計画の中で、可能な限りできることを検討してまいります。	③
84	子どもが飽きないようなキッズスペースや隣接した公園を整備されたい。	待合室に設置された、いわゆるキッズスペースについては、検討をしたいと考えております。公園については、整備を行いませんが、既存の隣接した湯沢平公園の活用を促してまいります。	③
85	現在の職員の雇用継続を検討されたい。	現在のスタッフの皆様の雇用に関しては、市が言及できる立場にはございませんが、事業者の意向やスタッフの皆様の経験が尊重されるよう必要に応じて連携・配慮してまいります。	⑤
86	自家用車が利用できない人の通院も考慮し、アクセスしやすい立地を検討されたい。	庁内における検討段階において、① 開発コスト、② 工期・スケジュール、③ 地域バランス、④ 用地適正、⑤ アクセス・交通利便性、⑥ 周辺環境への影響の6項目の評価基準を設定し、現実的かつ具体的な建設候補地を選定する中で、結果として、本構想案にて示しました地域での整備を結論付けました。アクセスに関しては、当該地区には、路線バスが運行しており、建設地近隣には、湯沢平公園入口停留所も設	④

No	意見の内容	市の考え方	反映 結果
		置されております。また、今後、利用状況を見極めながら、バス事業者に対して働きかけも行いたいと考えております。	
87	観光目的ではなく、通院する人が落ち着いて利用できる施設とするため、施設が観光地化するようなデザインは避けられたい。	本市の魅力は富士山のロケーションではありますが、一方で、御指摘のような事態は避けるべきと考えます。今後の建築設計において留意いたします。	③
88	雨の日でも救急車や送迎車が安全に停車、降車できるよう、駐車場に屋根のあるスペースを設けられたい。	本市の気候条件を鑑みますと、必要な施設であると考えます。建築設計において検討していきます。	③
89	妊産婦の視点から、分娩時の鎮痛管理や予定帝王切開の立ち会い、三次医療機関紹介時のサポート、女性医師の配置、院内における待機スペースの確保、産後ケアやバースプランの充実、助産師との連携を図られたい。	各種の御指摘については、今後の運営計画の策定において検討してまいります。	③
90	救急車やドクターヘリも含めたアクセス性、駐車場の確保、容易な予約方法の検討、当日枠の設定を検討、導入されたい。	庁内における検討段階において、① 開発コスト、② 工期・スケジュール、③ 地域バランス、④ 用地適正、⑤ アクセス・交通利便性、⑥ 周辺環境への影響の6項目の評価基準を設定し、現実的かつ具体的な建設候補地を選定する中で、結果として、本構想案にて示しました地域での整備を結論付けました。アクセスに関しては、近隣に国道、新東名及び東名高速道路等の道路網が整備されております。駐車場も構想案に記載の通り、十分な駐車台数を確保する予定です。予約については、今後の運営計画の策定において検討してまいります。	③
91	麻酔科医としての専門的視点から、医療安全の徹底等のリスクマネジメント、麻酔科医の常勤体制、救急カート等の整備、研修の充実等を図られたい。	各種の御指摘については、今後の運営計画の策定において検討してまいります。	③
92	医師としての総合的観点から、望まない妊娠や若年妊娠の精神的ケア、全ての女性に寄り添う医療、ケアの提供、若年層への性教育の発信等を図られたい。	女性のヘルスケアの充実については、構想（案）の中で触れておりますが、今後の運用計画の中で、さらなる充実を図っていきたいと考えます。	②
5 意思決定後の策定案の内容		(資料添付)	

No	意見の内容	市の考え方	反映 結果
6	意見の公表先	市ホームページ	

担当課	御殿場市 健康福祉部 救急医療課 TEL : 0550-83-1111 FAX : 0550-82-3755 メールアドレス : kyukyu@city.gotemba.lg.jp
-----	--